

第2回 国際協力セミナー 報告

M1の夏の過ごし方相談会

【日時】2006年6月12日月曜日 18:30-20:00

【参加者】M1: 14人、M2 & D: 9人

今回は、昨夏までに、インターンやフィールドワークなど、修士1年生の夏休みを謳歌した上級生を招いて、インターンなどをするに到った経緯、どのように情報を集めたか、どういった伝手を頼ったか、その経験が今の自分にどのような影響を与えているかなどなど、報告書には書いていない部分について、お話いただきました。

それぞれの簡単な紹介のあと、個別相談形式となり、1年生は積極的に上級生を質問攻めにしていました。

【講師】

野村さん (UNICEF 東チモール)

小島さん (JICA ブータン事務所)

石曾根さん (JICA ベトナム事務所)

福田さん (JICA 本部)

甲木さん (タイ政府)

乙黒さん (SVA カンボジア)

眞鍋さん (OISCA フィリピン)

永吉さん & 太田さん (FASIDプログラム インドネシア)





【M1からのメッセージ】

1. 「M1の夏の過ごし方相談会」感想、役に立った点

- 私の場合は JICA インターンがすでに結果待ちの状態であったため、教えていただく立場でありながら実は自由度が低い微妙な立場での参加ではありましたが、主として JICA インターン合格を前提として、事前準備や現地での過ごし方などを教えていただき、役に立ったと思います。また、JICA が落ちた際のバックアップという観点で NPO などでもインターンした方々の話を伺えればと思っていましたが、あまり時間がありませんでした。しかし、昨日の相談会をベースに、個別にコンタクトも可能だと思いますので、ベース作りという点で役に立っていると思います。
- まず、インターンに M2 で知りえている先輩のほとんどが参加されていたという事実により、本専攻の熱意を感じ、またやる気（あせり）を奮起させられたように思います。現地語が話せればよかったとの話を多く聞き、今から勉強しようと考えています。
- 最初に3分で簡潔にまとめて、その後個人での相談会にした流れは話しやすく、効率的に時間を過ごせた気がします。来年度もあのような進行でよいと思われる。
- M2 の人達のインターンの話をまとめて聞くことができたので、全体像を捉えることができたのがよかったと思います。話を伺うとインターンの効用は主に三つあるように感じました。
1 途上国の現実を知る

2 国際協力の職場を見る。

3 コネができる。

- 事前準備を皆さんあまりされていなかったことは驚きでしたが、M2の皆さんはそれでもちゃんと効果が出てすばらしいと思いました。ただ、やはり現地語は少しでも勉強しておくことを再認識しました。
- 感想：とても有意義な時間をすごせました。
- 役に立った点：国連関係のインターンにはコネが必須だと改めて実感しました。僕は少しのんびりしすぎてた気がするので、発奮剤になったと思います。
- 全員に対してのお話の後、個別質問・相談という段取りがとても良かったと思います。→みんなが知りたい心構えや情報収集などと個別に異なるインターン等の詳細とが区別されていたので効率的でした。ラウンジで椅子を丸く配置したので受身になり過ぎることなく（話に）参加出来たと思います。
- 感想：夏の過ごし方や就職活動などはひたすら情報戦？情報量がモノをいうと思うので今回のような企画は非常に有益なものでした。本当に開催に感謝しております。内容も、おそらく先輩方のご配慮（自分が昨年何を知っていたらよかったかという点をさりげなく話しに含めてくださったこと）もあり、非常に充実していたと思います。
- 先ず、どのようなインターンがあり、またその内容の概要をつかむことができたのが良かったです。また、単純に親睦会のような効果もありました。自分としては、聞きたいポイント（現地での動き方など）をしっかりと聞くことができたので、満足のいく会になりました。
- 私は研究・興味の対象が発展途上国ではないということもあり、JICA以外のインターンに関する情報や情報の取り方などが聞けたことが良かったと思っています。また先輩方と個別に相談することのできる機会を設けて頂いたのが助かりました。実際にインターンをするかどうかはまだ悩んでいる最中ですが、参考にしたいと思っています。
- 色んなところに行った先輩方のお話をいっぺんに聞くことってなかなかできないことなので、とっても参考になりました。また、個人的にお話できたのも嬉しかったです。先輩方、みなさん本当に話しやすく親切にいろいろアドバイス下さって。感謝感謝です！
- 海外で過ごした人のその目的や動機が聞け、意外にも途上国での生活を体験したかったからという意見が多かったのが驚きでしたが、そのくらいでいいんだとほっとしました。（もっと、難しく考えていたので、安心しました。）
- M1の夏と今の研究とをどのようにつなげていっているのかが聞けたので、夏はやはり重要な時なのだなど改めて感じました。
- 自分は企業でのインターンを考えており、JICAなどでのインターンに関しては全くの無知であったので、皆さんがどんなインターンをしているのかについて知ることができ、単純に面白かった。
- 漠然としたイメージであった、夏の過ごし方が、先輩方の具体的なお話から、だいぶイメージが掴めてきました。そして、自分の計画のために、どのように動けばよいのか、準備で気

をつけることは何なのか（特に注射のお話が為になりました。）など、貴重な情報を仕入れることができました。また、普段意外とお話できない先輩方に、気軽に声をかけられる場を提供してくださり、交流のきっかけにもなりました。

- 感想としましては、かなり広範な範囲に内容がわたった分、一人ひとりの共通点が見出し辛いというのがあったと思います。ただ、情報収集のバラエティの多さがわかっただけでも、かなりの収穫でした。

2. 協力してくれた先輩へ一言！

- お忙しい時期にもかかわらずご協力いただき、本当に感謝しています。ある特定の関心分野（国際協力学専攻はかなり関心分野が広いとはいえ）を共有する集団において、上から下への知識・経験の伝達というのは非常に貴重なものだと思います。個人的にも、学部時代にこのような機会がなく苦勞し、自分たちで縦のつながりを生み出すような活動をしていました。私たちが今年するであろう経験を下ながら、全体がよくなっていくといいと思います。ありがとうございました。
- インターンをされていた先輩が多いことに、やる気を喚起させられました。有難うございました。
- 本当に勉強になりました。丁寧に教えてくださり、今後も何かあったらいつでも聞いて、とおっしゃっていただけだったので心強かったです。貴重なお時間をありがとうございました。
- お忙しい中貴重な話をありがとうございました。
- 「バカンス楽しめます！！」
- ありがとうございます！これからもよろしくお願いします！！
- 非常に興味深いおはなしをありがとうございました。M1の夏休みでみなさんが進路を定めたり、将来の展望をより明確にされたということを知り、自分の夏休みへの意気込みが強くなると同時に引き締まる思いです。先輩方の経験は私たち同じ道を歩むかもしれない者にとってはかけがえのない、貴重な財産です。今後とも是非ご教示頂けると幸いです。
- 貴重なお時間割いていただき、ありがとうございました！
- 忙しいなか、私たちM1のために時間を作って頂き本当にありがとうございました。優しい先輩方をもって、今年のM1は幸せです（>_<）
- お忙しい中、本当にありがとうございました。また、何かあったら相談とかしてしまおうかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します！
- お忙しい中お集まり頂き、ありがとうございました。耳寄りなお話をいくつも聞けたので、自分にとっては実りある会でした。海外に行かなくてはいけないというような、変な？強迫観念にとりつかれていましたが、日本にいてもいいのだ！と自信ができました。（研究内容とインターンでの活動はリンクしているのですが、現在決まっているインターン先が東京なので、不安を感じていたからです。）
- 一人3分での説明は、みなさんよくまとまっていて、わかりやすかったです。

- おいそがしい中、大勢の方がお越しくださって、感激でした。。本当にありがとうございました！知識・経験不足なため、初歩的な質問であったのにもかかわらず、丁寧に答えくださり、とても参考になりました。
- 今回はお忙しい中、まことにありがとうございます。普段からいろいろ質問するかもしれませんが、ご対応いただければ幸いです。